

令和4年4月13日

SATREPS チョルノービリ（チェルノブイリ）プロジェクト チャリティー写真展 「ウクライナを思う」

本学環境放射能研究所では、筑波大学および県立医科大学と共に、2017年からチョルノービリ立入禁止区域内でのウクライナとの共同研究「チョルノービリ災害後の環境管理支援技術の確立」、通称「チョルノービリプロジェクト」を実施しています。

ロシア軍の侵攻により、困窮しているウクライナの人々へ、私達にもなにかできることは無いか考え、このたび、チャリティー写真展を開催することといたしました。2020年以前の私達の研究活動、そしてキーウの街や人々の様子から、ウクライナをより身近に感じていただければ幸いです。

そしてそれが、戦火から避難したウクライナの人々の支援、さらにウクライナの復興につながることを願っています。

日時：令和4年4月15日（金）～18日（月）
10：00～17：00

場所：HIROYA GALLERY（ヒロヤ ギャラリー）
有限会社ヒロヤ
福島市清水町字広窪 33 - 26
TEL：024-549-2010

主催：SATREPS チョルノービリプロジェクト 福島大学環境放射能研究所

後援：ウクライナ駐在大使館 / 福島市 / 国際協力機構（JICA）

（お問い合わせ先）
環境放射能研究所・所長 兼
共生システム理工学類・教授 難波謙二
電話：024-504-2720
メール：nanba@sss.fukushima-u.ac.jp

チャリティー写真展

「ウクライナを思う」

福島大学環境放射能研究所は、2017年から筑波大学及び福島県立医大とともにウクライナとの共同研究「SATREPS チョルノービリ（チェルノブイリ）プロジェクト」を実施してきました。

これまでに私自身は全部で17回ウクライナを訪れております。

訪問の折には、仕事上の写真撮影以外にも、愛用のRollei 35S・NikonFM2・LEITZ Minolta CLに白黒フィルムで、キーウの街並みや人々を撮影してきました。

2022年2月24日から始まったロシア軍侵攻により、自由と平和を求めてきたウクライナの人々の日常が破壊されていることに憤りと悲しみが止まりません。

私達もなにかできることはないかと考え、今回の写真展を企画しました。チョルノービリとキーウで撮影した写真46点を展示します。

ウクライナをより身近に感じて頂ければ幸いです。

チャリティ：福島に避難するウクライナ人支援
ウクライナ駐日大使館支援

SATREPS チョルノービリプロジェクト

代表 難波謙二

福島大学共生システム理工学類 教授

福島大学環境放射能研究所 所長



2022年4月15日(金)～18日(月)
10:00～17:00 (16日13:30～講演 17日13:30～講演)

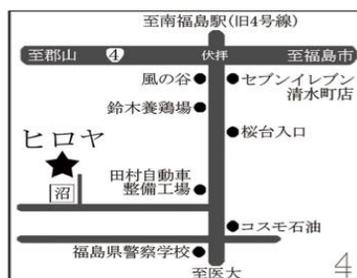


HIROYA GALLERY
ヒロヤ ギャラリー

有限会社ヒロヤ 福島市清水町字広窪33-26

お問合せ先 024-549-2010 ヒロヤまで

e-mail : fo10hiro@amber.plala.or.jp



主催： SATREPS チョルノービリプロジェクト

福島大学環境放射能研究所 (TEL024-504-2720)

後援：ウクライナ駐日大使館/福島市/国際協力機構(JICA)

協賛：有限会社ヒロヤ